

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2014年7月18日

7月18日(金)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、東京大学医科学研究所 分子発癌分野 井上純一郎教授を迎え、「転写因子NF- κ Bの活性制御機構とその破綻による疾患発症」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、井上先生から、NF κ Bによる乳癌幹細胞のノッチシグナルによる維持機構について、そして、RANLによる破骨細胞の分化のメカニズムについて、大変興味深い講演をして頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら50名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われ、盛況なうちに終了しました。



**演題名：転写因子NF- κ Bの活性制御機構と
その破綻による疾患発症**

講演者：東京大学医科学研究所 分子発癌分野

井上 純一郎 教授

日時：7月18日（金） 17:00～18:00

場所：がん進展制御研究所 4階 会議室

NF- κ Bは、細胞の増殖、分化、アポトーシスの制御に関与する他、炎症性サイトカインの発現誘導等に中心的な役割を果たすため、その活性制御の破綻は、種々の疾患の発症や進行に繋がる。

本セミナーでは、NF- κ B活性化の制御機構を紹介するとともに乳癌を中心に関連する疾患について紹介したい。